

【2012 まちづくりアドバイザー活動事例集】

【北 区】	大宮学区「防災と福祉のまちづくり」	1
	小野郷地域のまちづくり	1
【上 京 区】	上京区のポータルサイト「カミング」で繋がろう！	2
	地域をつなぐレポーター「マチレポ」が上京区を面白くする！	2
【左 京 区】	左京朝カフェの開催（区基本計画推進事業）	3
	久多地域のまちづくり	3
【中 京 区】	区民・大学生との協働による広報誌「マチビト来たる。」の制作	4
	地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる	4
【東 山 区】	東山区民ふれあいこどものまち	5
	まちづくりカフェ@東山	5
【山 科 区】	「大好き！やまのしな魅力発信プラットフォーム」の展開	6
	市民しんぶん区版へのまちづくり活動の紹介記事の連載	6
【下 京 区】	「下京・町衆倶楽部」の立ち上げと運営	7
	下京区基本計画・まずやること3「安全で環境に貢献する夜間門灯点灯運動」	7
【南 区】	マンション住民意向調査	8
	区内企業見学会	8
【右 京 区】	右京区まちづくり区民会議の企画運営	9
	地域住民目線の楽しいマップづくり「てくてく太秦」	9
【西 京 区】	西京・地域“広報力”サポート事業	10
	西京区「地域力」育成支援事業	10
【西京区洛西支所】	洛西ニュータウン創生のまちづくり	11
	地域健康づくりグループ育成事業	11
【伏 見 区】	広めよう、伏見～るかるたの輪	12
	“伏見人”の魅力伝える伏見サロン	12
【伏見区深草支所】	深草「竹のブランド」創出事業の支援	13
	深草まるごとサロンの日から Fits（フィッツ）の取組へ	13
【伏見区醍醐支所】	はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト	14
	健康づくりサポーター事業	14

大宮学区「防災と福祉のまちづくり」

【事業概要】大宮学区では、学区社協を中心に、佛教大学と連携した「大宮ほっとかへんで運動」を推進しています。安心安全ネットワーク形成事業における「防災と福祉のまちづくり講座」をきっかけに活動開始。ブロックごとの防災マップ作成や、災害時用配慮者登録制度（安心カード）を活用した、ご近所や学生での見守り体制構築に向けた取組等を展開しています。



【役割／関わり方】

様々な立場の方が一緒に取り組むためのコーディネーター役

- 多くの方々が主体的に活動に参加するための機会づくりのサポート
- 多様な主体が協働していくネットワークづくりへのサポート
- 会議や講座におけるファシリテーションや進行補助

小野郷地域のまちづくり

【事業概要】小野郷学区では、小野郷地域まちづくり推進委員会を中心に、佛教大学や北区社協などの専門機関と連携した、山間地における高齢者への生活支援に取り組んでいます。独居高齢者宅への訪問によるお困りごと調査や、お弁当の配食、井戸端サロンと題した世代を超えた交流の場づくりなど、学生と地域が協働した多様な取組を行っています。



【役割／関わり方】

活動を促進するためのサポーター役

- 多様な主体が協働していくネットワークづくりへのサポート
- 地域も学生も主体的に取り組める場づくり
- 事業の組み立てや企画運営をサポート

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：西原 秀倫

上京区のポータルサイト「カミング」で繋がろう！

【事業概要】上京区では、古くから地域に暮らしている住民と、新たなマンション住民や大学生などの新住民、NPO団体などとのヨコとタテの交流が少ない課題がありました。その解決のために、平成24年4月にポータルサイトを立ち上げ、相互交流を図る仕掛けを創っています。



【役割／関わり方】

普段からの繋がりを活かして、多様な主体の巻き込みをコーディネート

- サイトの開発会議に、大学生、若手社会人、NPO 団体などを運営主体として巻き込み、コーディネートしながら、サイト設計のワークショップを重ねました。
- NPO と区役所の仲立ちをし、より密なコミュニケーションを取りながら、プログラム設計、サイトの企画、運営の協働関係を構築しました。

地域をつなぐレポーター「マチレポ」が上京区を面白くする！

【事業概要】上京区は大学生が非常に多く暮らしている全国有数のエリアです。上京区では、NPOとの協働のもと、大学生などが地域と接点を持つきっかけとなる「レポーター」を募集し、接点づくりの機会づくり、地域活動や地域行事の情報発信、地域人材の発掘などを支援しています。



【役割／関わり方】

町につながる架け橋としてのマチレポの企画、運営、協働サポート

- 制作した上京区のポータルサイト「カミング」のサイトコンテンツを更新していくために、NPO や大学生と協力して、大学を回ったり、ソーシャルメディアなどを駆使しながら、「マチレポ」という学生／社会人レポーターを募集、養成、派遣体制を整えました。
- 若い世代と地域住民との接点づくり、地域の面白さを知るきっかけの場として、地域のイベントや活動団体の情報発信の支援などを行っています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：浅田 雅人

左京朝カフェの開催（区基本計画推進事業）

【事業概要】左京区ならではの地域力を活かした協働型まちづくりを進めるため、まちづくりに興味・関心がある方々に、自分たちでやってみたいことなど、思いや夢などを自由に語り合っただき、新しいつながりと自主的なまちづくり活動が始まることを目指します。また、区民・NPO等と行政が協働で取り組む「区基本計画推進プロジェクト」につながる活動や、同プロジェクトの事業企画・実施を担うメンバーを発掘・募集する場でもあります。



【役割／関わり方】

企画・場の設計についてのアドバイザー役

- 左京朝カフェの企画・運営
- 職員への研修（ファシリテーター講座）
- 当日のファシリテーション、全体進行
- 広報（フライヤー作成やインターネット広報（facebook）への助言・運営管理）

久多地域のまちづくり

【事業概要】左京区北部に位置する久多地域において、住民の皆さんと共に活性化策を考える取組を行っています。京都政策研究センター、京都府立大学公共政策学部の青山教授と協働し、久多にお住まいの方々を対象にした以下の取組について継続的に検討を行います。



- ①交通面や生活面での課題についてのアンケート調査 ②キーマンへの聞き取り ③事業計画づくり ④ワークショップやイベントの開催

【役割／関わり方】

様々な立場の方たちと取り組むためのコーディネーター役

- 検討に必要な基礎データの収集及び分析
- 他地域事例の調査
- ワークショップの企画立案
- 当日のファシリテーション、全体進行
- ワークショップ後のデータ解析、及びその結果に基づく具体策の企画立案

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：山中 はるな

区民・大学生との協働による広報紙「マチビト来たる。」の制作

【事業概要】 「このまちがもっと好きになる」をテーマとしたまちづくり広報紙、「マチビト来たる。」を創刊しました。

「マチビト来たる。」では、中京でまちづくりに取り組むひと＝「マチビト」の活動に対する想いやイベント情報を掲載しています。本紙を通して、次代のまちづくりの担い手である20～50歳代がまちづくりに興味や関心を持ち、参加することが期待されます。「マチビト来たる。」は、年に3回（3月末、7月末、11月末）の発行を予定しており、中京区役所等で配布しています。



【役割／関わり方】

区民・大学生と区役所の協働による、まちづくり広報紙の制作をコーディネート

- マチビトと区役所・学生等との橋渡し役：二条駅かいはいのまちづくり実行委員会で活動するマチビトを紹介し、マチビトと区役所・学生との橋渡しを行いました。
- 編集会議の運営サポート：編集会議の内容や制作スケジュールを区役所と企画・調整するとともに、会議の進行をサポートしました。
- チームビルディング：区民・学生・区役所が目的や想いを共有しながら制作できるよう、チームづくりをサポートしました。

地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる

【事業概要】 中京区では、次世代を担うリーダーの育成を目的に、「まちづくり仕掛け人養成講座」を開催しました。受講者は6名。全5回の講座を通じて、想いやアイデアを具体化するための企画提案力や、その企画を人に伝えるためのプレゼンテーションスキルの向上に取り組みました。



【役割／関わり方】

講座の運営支援，受講者が楽しんで受講できる雰囲気づくり

- 受講生を対象としたグループワークでは、アイデアに関連する取組や事例の紹介などの情報提供を行いながら、活発な議論が生まれるような議論に努め、受講者の想いやアイデアを企画のかたちにするのをサポートしました。
- 受講者に継続して参加してもらえるよう、楽しんで受講できる雰囲気づくりに努めました。
- 受講者が講師となり、パンづくりを通じて交流する婚活イベント「恋パン教室」の実施をサポートしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：深川 光曜

東山区民ふれあいこどものまち

【事業概要】「こどものまち」は、こどもたちが自ら考え創り出す仮想のまちです。まちのお店で働き、お給料をもらい、そのお給料を使ってまちで買物するなど、社会の仕組みや働く人の役割を体験します。出店するお店や提供するサービス、まちのルールもこどもたちが話し合いで決めていき、地域の学生や住民は、こどもの自主性を尊重しながら、この“まち”を創りあげる過程をサポートします。主役はこどもたち、それを大人たちが寄り添い・支えていくイベントです。



【役割／関わり方】

地域・大学・行政の協働をサポートするコーディネート役

- こども会議（こどもスタッフによる企画会議）において、こどもたちが積極的・主体的に参加できるプログラムを考案し、こどもたちの思いを一つひとつカタチにしました。
- 大人会議（ボランティアスタッフによる企画会議）において、ファシリテータとしてアイデア創造や合意形成のプロセスを組み立てリードしました。
- アドバイザーとしての人脈を生かし、ボランティアスタッフ（大学サークルやイベント経験者）と区役所との橋渡しを行い、新たな協力関係を構築しました。

まちづくりカフェ@東山

【事業概要】 東山区では、住民主体のまちづくり活動を支援する取組として、「まちづくりカフェ@東山」をオープンしました。東山でのまちづくり活動に興味関心のある人であれば誰でも参加自由で、参加者同志の交流や活動の実践を通じて、未来の東山のまちづくりとそれを担う人材の育成を図ります。特徴的なのは、参加者の主体性を重視している点で、区役所は側面からの支援に徹します。多様な人々が、自由な発想で東山の未来を考え行動することを促す事業です。



【役割／関わり方】

行政による取組をサポートするプロデュース役

- 事業のコンセプトや運営方法について発案し、担当職員と議論・検討を重ねながら決めていくと同時に、幅広く参加者を募るための広報や参加条件についてのアドバイスなど、事業立ち上げの一連の作業をサポートしました。
- アドバイザーの経験やノウハウなどを活かしながら、カフェに適した会場設営、交流会を円滑に進めるツール・資料づくり、当日のプログラム企画や司会進行などを担当し、参加者が楽しみながら東山のまちづくりについて語り合える場を演出しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：大塚 敏之

「大好き！やましな魅力発信プラットフォーム」の展開

【事業概要】山科区では平成15年から、区内各地の史跡・自然・祭・伝承・産業遺産などの地域資源を区民と協働で調査し、マップや冊子などにまとめてきました。のべ10年に及ぶ活動の中で、関わった区民の方から「これからのまちづくりには山科における様々な情報をお互いに交換し、広げる仕組みづくりが必要」との提案があり、まずはメーリングリストによる情報交換の仕組みを作りました。平成24年3月末に開始し、約半年経った時点で38名が参加しています。



【役割／関わり方】

情報交換の仕組みの検討・企画、プラットフォームの運営補助

- 事業全体の企画や運営に関する助言を行いました。
- 試行期間の中で改善点を検討するなど、実際の利用状況を運営に反映するための仕組みを提案しました。
- プラットフォームの運用にあたり、利用者と管理者それぞれの視点を踏まえた使用ルール・マナー等作成の助言を行いました。
- プラットフォームの参加呼びかけを、区役所とともに行っています。

市民しんぶん区版へのまちづくり活動の紹介記事の連載

【事業概要】区民と行政が協働で作成した区基本計画の推進を後押しするため、実際に取組が進んでいる区民の活動取材し、市民しんぶん山科区版に「区民活動きずなりレー」として連載しています。800字程度の文章と写真により、区基本計画の基本施策との関わりや、活動の様子を紹介しています。平成23年度は10団体の記事を掲載。平成24年度は5団体を予定しています。



区民活動の取材の様子

【役割／関わり方】

企画および取材や記事作成

- 市民しんぶん山科区版に区民の活動を紹介する連載のアイデアを組み立てました。
- 取材対象の検討や絞込みを行いました。
- 取材を行い、記事を作成しました。
- 取材を通じて団体の活動における悩みや今後に向けての提案などを知ることができ、区役所と情報共有しています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：佐藤 友一

「下京・町衆倶楽部」の立ち上げと運営

【事業概要】「下京区で何かしたい」「下京区が大好き」「下京区に住んでいる・働いている」など、下京区をキーワードに今までまちづくり活動をしていなかった人、したくてもかかわり方や、活動の仕方がわからなかったという人たちが集まり、自分たちの自由な発想で自分たちのやりたいことを提案し、まちづくり活動に結び付けていくという倶楽部です。



【役割／関わり方】

組織作りの提案・人材の発掘・交流会の企画運営・チームづくりへのアドバイス

- 町衆倶楽部をどのような組織にしていくのか、担当職員と20代のまちづくり活動経験者とともにアイデアを出し合いました。
- 商店街や門前町の活性化など、区内で自主的に活動している個人やグループを訪ね町衆倶楽部への参加を呼びかけました。
- 仲間探しから、やりたい活動のプレゼンテーションを経て活動チームづくりに至るまでの交流会の企画を提案し、当日の運営を行いました。

下京区基本計画・まずやること3

「安全で環境に貢献する夜間門灯点灯運動」

【事業概要】下京区基本計画では、区民主体で重点的に進める取組として、区民、団体、事業者、行政など、下京区のまちづくりに関わるあらゆる人々が手を携えて実行していく「まずやること」を掲げています。その一つ「安全で環境に貢献する夜間門灯点灯運動」は、昼夜を問わず多くの人が集い、行き交うまちとして、夜間も犯罪の起こりにくい環境づくりを住民運動として展開するとともに、夜間の通行路などで危険や不安のある場所を調査し、門灯の点灯や事業所の照明で明るい環境をつくり出すことなどに取り組むものです。



【役割／関わり方】

運動の進め方のアドバイス・学生さんのサポート

- 地域の方・区役所・学生さんとで、モデル学区の昼間と夜間の両方でまち歩きを行い、門灯の数や暗い場所、地域の方が危険だと思うところをチェックしました。
- モデル学区の夏祭りに参加して危険個所のアンケート調査を行いました。
- 学生さんたちによる「安心安全マップ」の作成とポスター作りをサポートしました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：天岡 昌代

マンション住民意向調査

【事業概要】上鳥羽学区で、自治会未加入マンションの中から地元自治会からの推薦を受けて選定したマンションに対し、全戸を対象とした自治会加入意向についてのアンケート調査を実施。関心の高かった世帯を中心に、自治連合会・安心安全推進委員会の代表と区役所が共同で懇談会を開催し、自治会への加入促進を図りました。その結果、一部の世帯の加入に繋がりました。



【役割／関わり方】 事業の企画から運営までの各段階で地域が主体的に取り組んでもらえる環境の演出をサポート

- 他都市・他区（上京区・中京区等）の実施事例を取り寄せ、参照しながら企画意図・運営体制・具体的アンケート内容を提案し、アンケートの集計・分析作業をサポートしました。
- 地域の方・区役所と打合せながら懇談会の効果的運営方法を提案、特に子供連れ参加が可能な場づくりのアイデア出しを行い、実現に結びつけました。
- 未加入世帯への自治会・町内会情報の案内チラシ等の企画・配布支援を通じ、加入促進への地道なフォローに関与してきています。

区内企業見学会

【事業概要】南区ならではの特性を活かした区内の企業と区民の交流促進を図る初の取組。2011年度は、8月に「日本新薬」（30名参加）、12月に「ワコール」（54名参加）の2企業の協力を得て実施しました。どちらも参加者には大変好評で今後も続けて欲しいという声がたくさん寄せられていました。今年も継続実施が決定しており、今後より一層区民と企業との交流が深まる事が期待されています。



【役割／関わり方】 区基本計画の主旨に添った中・長期展開の事業企画・運営方法の提案・助言や区役所と企業とのコーディネーター役

- 継続した事業の必要性を理解してもらうために3～5年スパンでの企画・運営案を提案し、出来上がった企画案への助言を行いました。
- 人的ネットワークも含め区内の候補企業のリストアップや紹介を行い、選択肢の幅を広げてもらえるためのサポートをしました。
- アンケート項目の提案・助言、集計・分析作業のサポートを行い、今後活かせるようにしました。
- 当日の運営サポート（見学者誘導・アンケート実施等）。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：金井 深水

右京区まちづくり区民会議の企画運営

【事業概要】平成23年度からの10年間の右京区の将来像や目指すべき方向性を盛り込んだ、「右京かがやきプラン」。その実現に向けて、区民、企業などの事業者、行政といった多様な主体が協働で取り組むプラットフォームとして「右京区まちづくり区民会議」を立ち上げました。区民一人ひとりが地域まちづくりの当事者として、「右京区民の右京区民による右京区民のための」まちづくりに取り組むための情報交換・ネットワークづくりの場として運営しています。



【役割／関わり方】

多様な主体が協働していくネットワークづくりへのサポート、コーディネート

- 協働の基盤となる、区民・企業などの事業者・大学・行政などのネットワークづくりから、それぞれができることを持ち寄って具体的なテーマに取り組むプロジェクトチームづくりにつながるプロセス全体の企画運営をサポート。
- 情報交換やつながりづくりなど、テーマに応じたプログラム立案、司会進行やファシリテーション。
- 個別のテーマに取り組むプロジェクトチームの立ち上げから活動内容づくりなど、企画運営をサポート。

地域住民目線の楽しいマップづくり「てくてく太秦」

【事業概要】太秦地域（太秦学区・南太秦学区・嵯峨野学区）を対象に、地域の活性化につながり、また来訪者にとっても楽しいマップを2カ年で作成します。

ワークショップやまち歩きなどを通して、太秦地域の魅力を掘り起こし、魅力を伝えるテーマを設定し、安心して楽しく歩けるルートを盛り込んだマップづくりを進めています。作成後は地域での世代間交流や新規住民との交流、さらには地域住民がガイドをする太秦ツアーなどにつながればと考えています。



【役割／関わり方】

- 地域住民が楽しく参加でき、意欲をもって取り組めるようなプロセスとプログラムづくり
- 地域住民の意欲向上、将来的に地域でマップを活用していけるようになるためのプロセス立案。
- 全参加者によるワークショップ、学区ごとのワークショップ、テーマごとのワークショップなど、将来主体的に活動するグループを無理なく立ち上げるためのプロセスの提案。
- 3つの学区の状況に応じたワークショップ手法の検討、テーマに応じたプログラム立案、司会進行やファシリテーションなどを実施。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：朝倉 真一

西京・地域“広報力”サポート事業

【事業概要】 自治会活動をはじめとする地域活動の活性化に不可欠な地域の「広報力」の充実・強化を支援するため、西京区内の各学区・地域の自治連合会や各種団体の広報担当者等を対象に広報紙づくりに関する実践講座（全3回）を開催しました。また、希望する学区・地域に対して、広報の専門家が個別にアドバイスをを行う相談会を各2回開催しました。



【役割／関わり方】

地域のニーズを把握した企画立案のサポートと運営補助

- 事業全体の企画に対する助言を行いました。
- 講座に参加することにより、参加者のニーズや満足度を把握しました。
- 参加者のニーズや満足度を次の講座に活かすため、講師ときめ細かい打合せを行いました。
- 個別相談会に同席し、学区・地域の思いを専門家に伝えるサポートを行いました。

西京区「地域力」育成支援事業

【事業概要】 平成21年度より、地域活動のあり方の検討や新たな担い手育成を通じて地域力の向上を目的に、「まちづくりリーダー塾」や「まちづくり推進活動フォーラム」を開催してきました。平成23年度は、自治会への加入促進にスポットを当てて議論を重ね、リーダー塾内での検討内容の発表や、地域活動への参画を広く区民に訴えるため「まちづくり推進活動フォーラム」を実施しました。



【役割／関わり方】

「まちづくりリーダー塾」や「まちづくり推進活動フォーラム」の企画・運営

- 事業全体の企画・運営に対する助言を行いました。
- 毎回の「まちづくりリーダー塾」において、グループディスカッションなどの進行役を担当することにより、学区・地域の方々が課題に気づき、解決への方策を学区・地域の垣根を超えて一緒に考える場づくりを行いました。
- 平成23年度「まちづくり推進活動フォーラム」においては、リーダー塾の参加者の方々がグループディスカッションの進行役をする際に、運営補助を行いました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：田尾 純子

洛西ニュータウン創生のまちづくり

【事業概要】 洛西ニュータウンは、まち開きから 30 年以上が経過し、自然環境に調和した緑豊かなまちとして成熟しつつも、少子高齢化、サブセンター（商業施設）の衰退など、多種多様な問題を抱えています。こうした背景のもと、平成 18 年度までに課題や方策をまとめたまちづくりビジョンを策定し、平成 19 年度からはビジョンの実現に向けて、地域住民、事業者、大学、行政で構成する「洛西ニュータウン創生推進委員会」を組織し、まちづくりに取り組んでいます。



【役割／関わり方】

事業に関わる職員への助言や委員会や各部会の活動支援など

- 事業全体の企画運営に対する助言や支援を行っています。
- 平成 24 年度より安定的な財源確保のために会館管理を受託する準備を進めるなかで、組織づくりの支援や会議の進行を行いました。
- まちあるきツアーや交流フォーラムなどの事業の企画運営や各部会の自主的な取組に関する助言・支援などを行っています。

地域健康づくりグループ育成事業

【事業概要】 本事業は、市民相互で支え合って健康づくりに取り組める環境づくりと健康に対する意識の向上を図るため、地域で健康づくりに関する知識や技術の普及啓発を实践できるボランティア「健康づくりサポーター」を養成し活動を支援する事業です。平成 22 年度からは養成講座修了者で組織する自主グループの活動がスタートし、保健センターの事業のサポート、地域の要請に応じた健康教室の実施、ウォーキングラリーの企画・運営などを行っています。



【役割／関わり方】

活動の主体性を高めるための、事業の担当職員への助言や自主グループへの活動支援等

- 養成講座について、企画運営に関する助言やグループワークの進行などを行っています。
- 自主グループ「健康づくりサポーターらくさい」の毎月開催の定例会に出席し、助言や会議の進行補助などを行っています。
- ウォーキングラリーを開催するにあたり、企画・運営に関する助言・支援などを行っています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：山本 一貴

広めよう、伏見～るかるたの輪

【事業概要】平成 20 年に京都市立伏見工業高等学校産業デザイン科が「伏見～るかるた」を作ってから、深草管内の小学校にかるたを使った出前授業を行ってきました。伏見～るかるたを通じて、子どもたちが歴史ある伏見についてもっと知り、もっと好きになることを願って、平成 21 年から毎年 2 月に「伏見～るかるた大会」を稲荷繁栄会と伏見楽舎とともに実施しています。



【役割／関わり方】

学校・地域・行政の協働を支援するコーディネート役

- 年間を通じて、「伏見～るかるた」を広める機会は、「伏見～るかるた大会」しかありませんでした。そこで、イベント出展による PR、伏見区役所と深草支所ホールでのかるた展示、伏見区内の児童館でのかるた遊びなど、子どもたちをはじめ幅広い区民の方にかるたを知ってもらい、地域の歴史に触れ、地域に対する愛着を育んでもらう機会のコーディネートに努めました。
- 年間活動計画を作成・共有し、かるた大会の円滑な運営及びかるたの普及活動を行いやすくしました。

“伏見人”の魅力伝える伏見サロン

【事業概要】伏見サロンは、伏見のまちづくりに関心を持つ区民の交流の場として、平成 23 年 2 月から毎月 1 回開催されています。音楽・商業・環境・福祉など様々なテーマで活動している人たちが活動分野を越えて知り合い、気軽におしゃべりをすることによって「伏見には素敵な人がたくさんいるな」「私も活動がんばろう」など感じられるような交流会です。時にはまちあるきや酒蔵見学を行い、伏見のまちをよく知る機会を作ります。



【役割／関わり方】

伏見で暮らす人や活動する人たちが交流する場づくりサポート&コーディネート

- 伏見サロンのプログラムを企画・運営しています。参加者の自己紹介と活動紹介を行う交流会を中心に、参加者の専門技術や知識を活かしてワークショップを運営しています。
- 伏見区内のまちづくりに関する情報を参加者と共有します。
- 行政機関・地域団体・学生・伏見区民に対して交流会の参加を呼びかけ、人のネットワークを広げるように努めています。
- 伏見サロンへの参加者の緊張をほぐし、交流会後も緩やかにつながるような雰囲気づくりを心掛けています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：亀村 佳都

深草「竹のブランド」創出事業の支援

【事業概要】 深草は、江戸時代には「深草うちわ」として全国に知られた竹団扇の名産地でしたが、現在地元での生産は途絶えてしまいました。そこで、地元NPOらが中心となって、深草の竹で、深草の人の手で、深草うちわづくりを復活させようという取組が始まっています。平成23年度には、うちわ職人から市民がうちわの竹骨づくりを学ぶワークショップや、支所ホールでの「深草うちわ」展を開催しました。平成24年度には、支所管内にある京エコロジーセンターと協力して、より広く深草のうちに注目してもらう展覧会やワークショップを計画中です。



【役割／関わり方】

内外の地域資源情報や専門家を繋ぎ蓄積と発信を可能にするコーディネート役

- 深草のうちにわについての資料が少なく曖昧なことから、専門家や京都市内外の資源を活用して、深草の歴史と日本の団扇製作の歴史が比較できる独自の年表づくりなど、地場産業復活のための資料を蓄積するための助言を行っています。
- 地域内外の団扇業界や、歴史の専門家、展示施設等とのコーディネートを推進し、深草支所地域力推進室に協力する形で地元NPOなどをサポートしています。

深草まるごとサロンの日から Fits(フィッツ)の取組へ

【事業概要】 大学と行政との新しい連携の形として、学生達と地域社会の学び合いを目的に、深草商店街と支所が共催する「深草まるごとサロンの日」に対して、管内全ての大学に学生の運営協力と呼びかけました。集まったメンバーの、地域についての知識・関心や地域振興に対する想いを踏まえて、Fits (フィッツ) という緩やかな参加の場を作り、支所管内で地元の方のお話も聴くフィールドワークを行うこと、地域福祉についての経験促進、深草の個性を知り発信する深草学を継承すること、を主な方針として、平成23年度から毎月一回の地元フィールドワーク&ディスカッションを継続しています。



【役割／関わり方】

現地を見聞し、地元で暮らす方々と学生が接するための、場のセッティング役

- 深草支所の地域活性化事業(商店街活性化と地域福祉の交流拠点づくり)を通して、イベント当日ボランティアだけでなく継続的な地域への関わりを促しました。
- 支所や地域の取組に、より多くの方が参加する機会を作ると同時に、ヨソモノワカモノの視点を伝える相乗効果を高めるため、大学ゼミ等とは異なる経験と対話の場をコーディネートしています。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：加藤 ゆうこ

はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト

【事業概要】 「はばたけ未来へ！醍醐プロジェクト」という事業では、醍醐支所における市民サービスの向上及び醍醐地域の活性化を目標に、支所の各課から横断的に集まった若手メンバーで構成されるプロジェクトチームをつくっています。チームで取り組む事業の企画立案から実施までを一貫して行っています。また、事業を実施するだけでなく、各課の情報交流を促し、若手メンバーの研修の場としての効果も期待されます。



地域のマスコットキャラクター「もちもちいん」を活用した地域活性化の取組の一環として、地元の皆さんの協力を得て職員名札をリニューアル

【役割／関わり方】

事業のアイデアを出し合い、形にしていける環境を作り出す

- 会合の運営をスムーズにするため、リーダー一人に任されていた会合の運営業務を複数人で担う事務局をつくることを提案し、また、会合の進行をファシリテートするなど、オブザーバーとして本事業の会合に寄り添い、チームの状況を分析しながらサポートを行いました。
- 事業の企画立案にあたっては、ブレインストーミングや取組の順位付けなどをサポートし、無理なくかつ効果的な取組が実施できるよう促しました。

健康づくりサポーター事業

【事業概要】 健康づくりサポーター事業とは、市民の健康づくりをサポートする市民を育成する事業です。サポーターは保健センターの講習を経たのち、定期的に会合を催し、市民の健康づくりサポートに資するよう講師を招いた勉強会などの自主活動を行っています。



【役割／関わり方】

「深く話し合える環境を創出し、活動のレベルアップを助ける」

- オブザーバーとして本事業の会合に寄り添い、第三者的視点を活かしてチームの状況を分析しながらサポートを行いました。
- 参加者のニーズをより掘り下げる必要があることを踏まえ、少人数グループワークによって、サポーター同士が想いや動機、課題などを深く話し合えるワークショップを企画し、ファシリテーションを行いました。サポーター同士の間の意思疎通を促し、これまであいまいになっていた課題や改善の糸口を発見するきっかけをつくり出しました。

この活動を担当したまちづくりアドバイザー：谷 亮治